

とうえい

1月号

発行者●社会福祉法人桐栄会
●青森市浪岡大字樽沢字村元330番7
TEL 0172-62-9201
FAX 0172-62-9019

編集●広報「とうえい」編集委員会

餅つき会 12月28日にケアハウス中庭にて餅つき会が行われました。当日は朝から雪が舞い、天候には恵まれず…と思われましたが、始まる頃になると晴れ間が見え、入居者も「天気いいのはめずらしいよ」と微笑む方もありました。

餅をつく姿を特別養護老人ホームの利用者やグルーブホームの利用者などたくさんの方々が見学に来られ、「よいしょー」と声を掛けてくれたりと楽しいひとときとなりました。お供えのお餅を作る際も手際よく丸めて、「正月だの」と笑つていました。餅つき会終了後には皆さんでつき立てのお餅をおしぜるこやお雑煮としてお供えの餅を作る際も手際よく丸めて、「正月だの」と笑つていました。餅つき会終了後には皆さんでつき立てのお餅をおしぜるこやお雑煮としてお供えの餅を作る際も手際よく丸めて、「正月だの」と笑つていました。

和頬会話

（おもやかさ）ビスの運営を担当しました。

S・M



私達の事業所では、年4回介護予防教室を行っています。今年度第3回目として、10月24日、梵珠山自然みらいセンターから山頂までの登山に挑戦しました。下は61歳から上は83歳の健歩24名の参加で、梵珠山の「大人」との異名を持つ、後藤信三さんご案内して頂きました。いざ入山！秋の衣を羽織り始めた景色を見る事ながら、登山者が安全に、そして安心して歩けるよくな装備には驚かされました。まさに…『おもてなし』の精神。一人の脱落者もなく、無事山頂へ着く事ができました。

頂上では360度開けたパノラマの景色がお出迎え。皆、思い思いの場所に弁当を広げ笑顔で昼食をとりました。登山を企画した当初は、少々無謀かと思われましが、参加者からは「程よい疲労感と達成感を得られた」「良かった」等の感想があり、ホッとしています。

来年も心と体の健康を目指して、楽しい時間と一緒に過ごしましょう。

N・P

介護予防 教室

社会福祉法人 桐栄会の事業

浪岡在宅介護支援センター

浪岡事業所

常盤事業所



- ◆特別養護老人ホーム ゆうゆう荘
- ◆介護老人福祉施設
- ◆短期入所生活介護
- ◆通所介護
- ◆介護予防短期入所生活介護
- ◆デイサービスセンター 悠悠
- ◆デイサービスセンター 悠悠
- ◆特別養護老人ホーム ときわ
- ◆介護老人福祉施設
- ◆短期入所生活介護
- ◆在宅介護支援センター みすき
- ◆在宅介護支援センター みすき
- ◆特別養護老人ホーム つかさか
- ◆介護老人福祉施設
- ◆短期入所生活介護
- ◆介護予防短期入所生活介護
- ◆介護予防短期入所生活介護
- ◆介護予防短期入所生活介護
- ◆介護予防短期入所生活介護

○定期(代)

○定期(代)

○定期(代)

感謝録



※「じゅうえい」掲載の個人に関する情報は、ご本人の許可を得て使用させて頂いております。

◎編集後記

「あなたにうなづいたりあつたんだよ！」
園業のよなよな作家の語が書かれています。
先日、誕生日を迎えた娘は、一歳になつたことなど、それほどつたひ歩きからおもむかちあつむなど、同時に「歌ふんだりおひはだつむる」と「か多くなつります。もう少しのことは泣きませ、卒然として泣きだるるのだ」というアザがござつた。「わづかひでてあるの？」といつた言葉だ、今日は突然あがくらひ…。風呂の鏡見るとなついてしまいます。

子供の成長は早いと聞きますが、本当に早い。昨日はなかつたことが今日できたり、話せなかつた言葉だ、今日は突然出てきたり。成長には回を経るものがあります。子育ないとも、経むともあります。それが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえましますが、それ以上に喜ぶとはほほえまます。S・T



ケアハウスしづか

年の瀬が迫った12月13日、ケアハウスホールにて神棚と玄間に飾る“しめ縄作り”が常盤地区年縄部会の方々によって披露されました。

始めに、稻から藁ができ、その藁から「スシ矢→ネゴ→しご」ができる事を一つずつ、ゆっくりと説明して下さり、入居者の方々は真剣にその話を聞きながら見学されました。

その後、しめ縄作りが始まりましたが、毛羽だった所をハサミで切るなど製作活動に参加する利用者もありました。最後に皆で御幣を祈ってしめ縄に取り付けました。

今回も『常盤地区コミュニティー推進協議会・年縄部会』にこの様な交流を持って頂いた事に感謝したいと思います。

ありがとうございました。

S・M

特養つるがさか

「野木和保育園交流会」

12月12日は前日からの雪でしたが、子供達は踊りの衣装に身を包み元気に来園してくれました。お遊戯会での踊りを披露して貰うとの事で、入所者の方もワクワクしながら待っていました。

年長児16名が4つのグループに分かれ、鳴子を使ったリズム感ばっちりの舞、扇子を使った優雅な女性らしい舞、振り袖を着た可愛らしい舞、男児3人組の見事で迫力のある刀さばきの舞に皆さん魅了されていました。また、園児によるハンドベルに合わせ、会場一体となり“ふるさと”を合唱しました。

最後に、園児から入所者全員にプレゼントが渡され、「いつまでも元気でいて下さいね」と手を握られると、自分の孫や曾孫と重なったのか涙を流す方もいました。

野木和保育園の皆さん、楽しい時間を本当にありがとうございました。

S・K

「寿老人クラブ交流会」

12月8日、徳長老人クラブ10名の方が来園され、懐かしい歌や踊りを披露して下さいました。歌を聴きながら手拍手をし、時には一緒に口づき、中には身を乗り出して聞き入っていた利用者の方もおりました。司会をされた“天内 勇”様は、お話をとても上手で会場全体が笑いに包まれました。また、特別ゲストの“三浦 路子”様が歌った『母親』では、思わず涙で顔を拭う利用者の姿もあり、笑いあり涙ありの時間を過ごしました。

最後には、全員で“青い山脈”を元気に歌い、楽しい一時を締めくくりました。

K・M

グループホームいこい

今年も冬至の日に“ゆず湯”を行いました。普段とは違った浴槽に利用者の皆様は大喜びの様子でした。

では、なぜ冬至に“ゆず湯”に入る習慣が広まったのでしょうか？気になって調べてみると、江戸時代の銭湯からだそうです。湯治（とうじ）と冬至（とうじ）を掛け合わせ、身体寒さであれば融通（ゆうずう）が利く、という語呂合わせとの一説もあるみたいですよ。

“ゆず湯”に入りながら利用者の皆様にこの話をすると、「上手だな！」「よく考えたもんだ！」と関心していました。

O・M



特養つるがさか

「野木和保育園交流会」

12月12日は前日からの雪でしたが、子供達は踊りの衣装に身を包み元気に来園してくれました。お遊戯会での踊りを披露して貰うとの事で、入所者の方もワクワクしながら待っていました。

年長児16名が4つのグループに分かれ、鳴子を使ったリズム感ばっちりの舞、扇子を使った優雅な女性らしい舞、振り袖を着た可愛らしい舞、男児3人組の見事で迫力のある刀さばきの舞に皆さん魅了されていました。また、園児によるハンドベルに合わせ、会場一体となり“ふるさと”を合唱しました。

最後に、園児から入所者全員にプレゼントが渡され、「いつまでも元気でいて下さいね」と手を握られると、自分の孫や曾孫と重なったのか涙を流す方もいました。

野木和保育園の皆さん、楽しい時間を本当にありがとうございました。

S・K

「寿老人クラブ交流会」

12月8日、徳長老人クラブ10名の方が来園され、懐かしい歌や踊りを披露して下さいました。歌を聴きながら手拍手をし、時には一緒に口づき、中には身を乗り出して聞き入っていた利用者の方もおりました。司会をされた“天内 勇”様は、お話をとても上手で会場全体が笑いに包まれました。また、特別ゲストの“三浦 路子”様が歌った『母親』では、思わず涙で顔を拭う利用者の姿もあり、笑いあり涙ありの時間を過ごしました。

最後には、全員で“青い山脈”を元気に歌い、楽しい一時を締めくくりました。

K・M

ゆうゆう荘

御家族と職員が二人三脚で協力しな

がら課題をこなし『力を合わせてサンタに変身！』するゲームを行いました。お尻で風船を割る場面では、なかなか割れず苦戦…。

案の定、周りからは笑いがあこり賑やかな会となりました。

S・K



ディサービスセンター 悠悠

今年のクリスマス会は、職員が対戦する余興の勝敗を予想して頂く「博打」(バクチ)をやってもらいました。

「どっちがいいべな…」

「したばって、あちの方ガ…」

等、皆様頭を悩ませながら参加されていました。

S・K



迷うじゅ

常盤事業所 「自衛消防技術大会」



9月13日に弘前地区の自衛消防技術大会に参加しました。各企業や施設関係者がトーナメント方式で技術を争うもので、消火と人命救助(避難)をいち早くできた団体に賞が与えられます。

常盤事業所では、防災訓練の一環として毎年参加しており、今年は女性のみのチームでの初参加となりました。三人一組のチームでしたが、皆が初めての体験で緊張の中、思った以上の結果は出せずに終了しました。

他の団体の息の合った動きと早さに驚き、改めて防災訓練の大切さを感じた一日でした。

S・M